

仲良く寄り添うコウノトリの五つ子＝京都府京丹後市久美浜町芦原



五つ子コウノトリ野外へ

父鳥の事故死により、県立コウノトリの郷公園(豊岡市祥雲寺)で一時保護されていたコウノトリのひな5羽が9日、生まれ育った京都府京丹後市久美浜町の人工巣塔の近くで解放された。5羽は仲良く寄り添いながら、田んぼで餌をとるなどしていた。

5羽は豊岡市城崎町戸島と同市野上生まれの親鳥2世の子。野外では最多となる「五つ子」として、京丹後市の人工巣塔ですくすくと育っていた。しかし、父鳥の事故死を受けて母鳥の負担が増したため、6月上旬に京丹後市の依頼で郷公園がひなを捕獲、保護していた。

親鳥が事故死 郷公園が1カ月保護

解放地の近くには母鳥のねぐらがあり、コウノトリにとって危険なネットなどの障害物が少ない水田が選ばれた。ひなはこの日午前、大勢の住民が見守る中で箱から放たれ、ぎこちないながらも翼を広げるなど、約1カ月ぶりの野外の空気を満喫しているようだった。

コウノトリネット京丹後の野村重嘉代表(88)は「母鳥と再会できなかったのは残念だったが、カエルかバツタを食べているようで安心。しばらくは見守っていきたい」と話していた。

この日は、けがのために昨年8月から郷公園で保護されていた豊岡市日高町山本生まれのコウノトリ(1歳雄)が、同市出石町三木で解放された。(長嶺麻子)

- ① 五つ子コウノトリは、なぜ保護されていたのですか？
- 父鳥が () し母鳥の () ため
- ② どのような場所を選んで解放しましたか。その場所を選んだ理由を文中から二つさがして書きましょう。

読んでみよう！

保護した時の様子が6月4日付けワークシートで紹介されています。その記事も読んでみましょう。

- ③ 放たれた後の五つ子コウノトリの様子はどうでしたか。様子が書かれている部分に線を引きましょう。
- ④ この記事を読んだ感想や、もっと知りたいと思ったことを書きましょう。